

〈自己評価 1 回目〉

作成日：2026 年 6 月 8 日 作成者：古閑洋介

JKA 補助事業 2025 年度 自己評価書

開催日時：令和 8 年(2025 年) 6 月 2 日(火)10:00～10:30

出席者：理事長 西山敏雄

部長 古閑洋介

課長 中井春香

安全運転管理者 水口毅

防犯・車両安全委員会委員長 本多直樹

補助事業に係る第 1 回自己評価会を開催したので、以下の通り報告します。

1. 事業完了(納車)までの過程

令和 8 年(2025 年) 4 月 24 日(月)事業完了(納車日)

令和 8 年 3 月 31 日までに事業完了の計画であったが、申請車両が生産されておらず
どの販売店も受注できないため、JKA 様に相談の上「計画変更に関する承認申請」を
行った。その後、自動車販売店の協力のもと遅れて 4 月末に納車完了した。

2. 運行件数

運行期間	利用日数	延べ利用者数	利用回数	距離
令和 8 年 4 月 28 日 ～ 5 月 31 日	28 日	594 人	63 回	3,000 km

3. 情報発信の方法

- ・利用者及び家族に 6 月号のおたよりで周知、配布
- ・事務所の掲示版へ文書、車両の写真を掲示
- ・法人ホームページへ令和 8 年 5 月 15 日に掲載済み
- ・法人職員連絡ツール Zoho connect で 4 月 22 日、24 日に周知

4. 議事

JKA 補助事業に伴う自己評価について

①実施計画・体制

3 月末の導入を予定していたが、各メーカーに問い合わせると 10 人乗り車両が生産して

なく残っている車両もない、新たに受注できない状況が発生した。その後、メーカーに問い合わせを続け、12月末に生産開始に伴い発注した。納車期日が4月末に遅れてしまったが無事車両を整備することができた。納車後は、防犯・車両委員会を中心に管理を行い、計画通りに遂行できている。

②事業の実施結果(達成目標)

3月末の導入予定が遅れて、4月24日納車。4月28日から整備した車両でのご利用者の送迎を開始。送迎、余暇活動、地域参加などに運用している。予定より遅れての導入であったため、評価は標準より低い。

③事業の成果・波及

月曜日から土曜日まで、送迎サービスで、運転手を除く、9名の方が往復で利用。おおよそ、往路2時間、復路2時間の合計4時間運行している。また、生活介護事業において日中活動での余暇での外出、地域との交流などに稼働している。そのため、目標達成している。

④事業実施の結果(情報発信)

- ・法人ホームページへの掲載(2026年5月15日)
- ・生活介護、就労継続支援B型の6月号のおたよりにて利用者、家族へ周知(2026年6月1日)
- ・施設内のホワイトボードに周知文を掲示(2026年5月15日)
- ・ホームページにJKAのバナーを設置(2026年5月25日)

いずれも予定通り実施できている。

⑤競輪・オートレース補助金による事業であること

④で行った周知をする際に、利用者、家族、職員へ明確に伝えている。職員に対しては、職員会議でも周知を行った。

⑥自己評価の体制

主に、防犯・車輛委員会と安全運転管理者を中心に現状把握を行い、理事長や管理者等へ報告を行っている。また、送迎で車両を運転する職員や添乗で利用者宅に伺う職員が、利用者や家族から、車両を整備しての感想などを聞き報告している。

⑦総合評価

上記のことから、車両が受注できず納車が予定より遅れたことは想定外であったが、それ以外は、計画通りに実行できている。今後、さらに車両を活用し、利用者の生活や活動の充実を図ったり、車両を使用する職員がより安全に運転業務を遂行、継続できるように取り組んだりするために、防犯・車両委員会を中心に現状を把握を行っていく。

5. 利用者・家族・職員の声

- ・乗り心地がよく安心して乗れる。
- ・10人乗りが配備出来て送迎乗車人数の拡大により、送迎充実に繋がった。

- ・安全装置がついていることで、事故防止に繋がれ利用者・運転業務者も安心して利用できる。
- ・最新のナビゲーションがついていることで、利用者宅や外出の時に調べて道に迷うこともない。
- ・競輪の看板デザインがおしゃれで利用者の方もすぐに気に入っていた。
- ・大切に使用し、きれいに乗りたい。
- ・山道、坂道でも走行しやすい。安心。

以上